

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 香川県立高松桜井高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒761-8076  
香川県高松市多肥上町1250番地

E-mail : takamatsusakuraiko@pref.kagawa.lg.jp

Website : http://www.kagawa-edu.jp/sakrah02/index.html/

児童生徒数：男子 370名 女子 433名 合計 803名  
 児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 地域におけるボランティア活動 )

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①学 年 : 全学年

②形 態 : 教科活動…E S Dに関連した学習  
総合的な学習の時間…ヒートアイランド現象調査  
特別活動…環境リーダー養成研修  
環境リーダーの活動  
地域との連携活動

③活動内容 (外部団体との連携などを含む)

時期	内 容	対 象
4月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
5月	節電・節水活動 ユネスコスクール講演会	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員
6月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
7月	節電・節水活動 中庭整備活動 ヒートアイランド現象調査 (地元企業とも連携)	全校生徒・教職員 環境リーダー・希望生徒 全校生徒・教職員
8月	環境リーダー養成研修 (環境保護団体とも連携)	希望生徒
9月	環境リーダー養成研修報告 文化祭での発表 CO2CO2削減コンテスト参加 節電・節水活動	研修参加生徒 全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 希望生徒
10月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 中庭整備活動 全国高校生E S Dシンポジウム参加	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 環境リーダー・希望生徒 希望生徒
11月	節電・節水活動 CO2CO2削減コンテスト参加 香川県地球温暖化防止活動推進センター主催の環境教育プログラム実践講座への参加	全校生徒・教職員 全校生徒・教職員 教職員
12月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
1月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
2月	節電・節水活動	全校生徒・教職員
3月	節電・節水活動 中庭整備活動 地域一斉清掃参加 (地域との連携)	全校生徒・教職員 環境リーダー・希望生徒 希望生徒

\* 校内放送 (定期)

\* HRでの清掃活動 (随時: HR単位)

\* 地域と連携した各種ボランティア活動 (随時)

#### ④各活動の概要

##### ○ヒートアイランド現象調査（意識を高める）

全校生徒・教職員による「ヒートアイランド現象調査」は、生徒は自宅で教職員は測定が不十分な地点で、同日、同時刻に一斉に気温を測定、それらを地図上に落とし、自分たちが住んでいる地域で、ヒートアイランド現象が見られるかを調査する参加型の調査である。調査にあたっては地元企業と連携している。本調査にあたっては、事前に器差補正や予備調査を行い、可能な限り正確なデータが取れるようにしている。得られたデータは解説をつけて、ホームページや文化祭等で発表している。ESDにおける環境教育では生徒の主体的参加とそれを通じた行動変容が求められている。そのため、本調査は環境問題に対する意識を高めていくことを目的とし、調査の結果よりも過程を重視して行っている。

##### ○環境リーダー養成研修（生徒主体の活動へ）

生徒主体の取り組みを実現するため「環境リーダー養成研修」を実施している。国立大洲青少年交流の家を会場にして学校ではできない体験活動を中心とした学習を行っている。地元で環境保護活動を行っているNGO団体と連携して自然観察を行ったり、ウォールクライミングなどを行ったりしている。各活動の後には「ふりかえり」をきちんと行うことで体験からの学びの定着を図っている。また体験活動をもとにした「私たち高校生にできること」を中心としたワークショップも行っている。本研修は、1泊2日の日程で行っているため、参加生徒のヨコのつながりもでき、その後の生徒主体の活動につながっている。

##### ○節電・節水活動／中庭整備活動（意識から行動へ）

研修に参加した環境リーダーを中心に、「さくらい環境宣言」を発し、校内放送を通して全校生徒・教職員による節電・節水活動に取り組んでいる。移動教室の際の消灯を確実にしたりするなど具体的に行っていた。例年参加しているCO2削減コンテスト（香川県地球温暖化防止活動推進センター主催）参加期間（平成26年9～11月）にも参加した。また、「中庭環境整備活動（池清掃活動）」などにも生徒たちが自主的に取り組んでいる。

##### ○地域と連携した活動（学校から家庭・地域へ）

環境問題に対する取り組みを学校の中だけに終わらせず、家庭・地域へと広げるため、生徒たちが地域で活動できる機会を設けている。地域一斉清掃への参加などである。環境活動に関する地域との連携に加え、ESDで必要とされる「自ら主体的に学び、考え、行動する」生徒の育成、また、「共に生きること」を学ぶという観点からも、地域のコミュニティーセンターや保育所、小学校、高齢者福祉施設等と連携したボランティア活動も行っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）